

木津川市にぎわい拠点施設（道の駅）基本構想（案）に対する意見募集結果（提出意見及び市の考え方）

1. 公表期間：令和5年7月3日（月）から令和5年8月4日（金）
2. 構想（案）に対する意見の提出結果：4人（15件）
3. 提出された意見及び市の考え方

No.	該当箇所	種別	ご意見	本市の考え	計画への反映
1	P60 7.導入機能(案) 8.その他機能	要望	道の駅にドッグランを建設してほしい。大型犬、小型犬用にわかれた仕様でお願いしたい。	今後、実施を予定している木津川市にぎわい拠点施設基本計画等において、この度いただきましたご意見等を参考にさせていただきますながら、導入機能の具体的な検討を行ってまいります。	—
2	P60 7.導入機能(案) 8.その他機能	意見	全体として大賛成である。 特に木津川市にはビジネスホテルがないので、あると助かる方も多いと思う。		
3	P58 7.導入機能(案) 7.にぎわい向上機能(1)宿泊施設 P59 7.導入機能(案) 8.その他機能(2)入浴関連施設	要望 意見	オートキャンプ場も、2台くらいのスペースを確保してほしい。 今後、いろんな形での旅行が予想されるため、全国からの旅行者がこの場所をネット等で知ることが出来ると思う。 入浴施設があれば、さらに喜ばれる。 但し、屋外での火気使用は不可（車内はOK）、要予約での利用のみが望ましい。		
4	P44 7.導入機能(案) 3.地域連携機能(1)農産物直売所	要望	学校側から拒否をされると仕方がないが、地元の木津高校園芸部、京都大学の農場でとれた野菜などの販売ブースも考慮してほしい。（学校に声をかけていただけないか？）		
5	P60 7.導入機能(案) 8.その他機能	要望	防犯カメラの設置（数か所）をお願いする。		
6	P60 7.導入機能(案) 8.その他機能	意見	例として、道の駅「越前おおの荒島の郷」には、様々な施設が併設されている。 駐車場には車中泊が可能なRVパークが併設されており、道の駅をベース拠点として活動が出来るようになっている。 道の駅内には、「モンベルショップ」が併設されており、アウトドアに必要な装備が揃うようになっている。 クライミングピナクルを使ったクライミング体験や池を使ったカヌー体験などが実施されており、道の駅単体で様々なアウトドア体験が出来るようになっている。 本件は、一級河川である木津川がすぐそばにあり、道の駅内に調整池もあるので、カヌーのレンタルや体験を提供し、カヌーの観光名所としてPRすることが可能なのではないかと？ また、RVパークを併設することで、木津川市の宿泊施設が少ないという問題も多少改善するかと思う。 立地に関わらず、わざわざ足を運びたいと思えるような魅力ある施設を作っていただきたい。		
7	P53 7.導入機能(案) 5.子ども応援機能(2)屋内遊戯施設 P54 7.導入機能(案) 5.子ども応援機能(3)屋外遊戯施設	要望 意見	受益者負担の原則を加味した施設運営、料金設定を前提としていただきたい。 税金で賄うこと前提とすると、継続性に乏しく、発展していくことが難しい。特に遊戯施設は維持管理や修繕費用が高いため、年を追うごとに施設としての魅力は下がっていく。 例としては、安満遺跡公園のポーネルドプレイヴィルのように、受益者負担ではあるが、施設としての魅力があり、立地に関わらず集客が見込めるような施設を設置してほしい。 独立採算で運営ができ、そこで出た利益の一部を市民に還元する(市民の小学生に無料招待券配布等)ような方針をとっていただきたい。 規模が小さいとショッピングモールの遊び場やつどいの広場等との差別化が図れないと思う。 一番賑わいが顕著に顕れる施設だと思えるため、是非、力を入れていただきたい。	今後、基本計画策定後、公募型サウンディング型市場調査※1を実施し、民間事業者による独立採算運営の可能性や導入する施設の内容、規模などを市の財政負担を極力抑制しながら魅力ある施設を整備するための検討を行う予定です。	—
8	P47 7.導入機能(案) 3.地域連携機能(4)多目的交流スペース	意見	受益者負担を原則としていただきたい。	※1 対話により民間事業者から市場性や幅広いアイデア、意見を求め、事業に反映させることでより効果的な事業実施を目的とする調査です。	—
9	P50 7.導入機能(案) 4.交通結節機能(1)サイクルステーション	意見	受益者負担を原則としていただきたい。		—
10	P58 7.導入機能(案) 7.にぎわい向上機能(1)宿泊施設	意見	受益者負担を原則としていただきたい。		—
11	P59 7.導入機能(案) 8.その他機能(2)入浴関連施設	意見	受益者負担を原則としていただきたい。		—
12	P6 3.木津川市の現状 2.交通 1.自動車	意見	今回の「道の駅」が単なる中継点・通過点になってしまうよう、以下のような方策により、現在の木津川市内の交通網の弱点である木津（山城）～加茂間のアクセス（例えば、山城郷土資料館から恭仁宮跡へ）を劇的に改善し、観光力を高める必要があると考える。	ご指摘のとおり、単なる中継点・通過点とならないよう、目的地としての魅力を高めることはにぎわい拠点施設を運営していくことで重要なことと考えております。今後、実施を予定している木津川市にぎわい拠点施設基本計画等において、基本構想（案）p.39に掲げたコンセプト（案）に沿った具体的な検討を行ってまいります。	—
13	P8 3.木津川市の現状 2.交通 2.バス	意見	(A)バス 木津駅⇒道の駅⇒山城郷土資料館⇒恭仁宮跡⇒加茂駅のバスルートを運行すべき。（フリーバスチケット適用が望ましい。）	基本構想（案）p.51に記載のとおり、地域の交通拠点となるコミュニティバスの停留所の検討を行う予定です。今後、この度いただきましたご意見等を参考にさせていただきますながら、事業の可能性及び具体的なバスルートの検討を行ってまいります。	—
14	P9 3.木津川市の現状 2.交通 3.自転車	意見	(B)自転車 京奈和自転車道と道の駅をサイクリングロードで接続する。また上記（A）を運行するバスを、サイクルラックバスとし、道の駅～恭仁宮跡間の自転車アクセスを安全に可能化すべき。（現在の当該区間の163号線は、自転車通行には危険すぎる。）	サイクリストもターゲットの一人としてとらえております。 今後、実施を予定している木津川市にぎわい拠点施設基本計画等において、この度いただきましたご意見等を参考にさせていただきますながら、安全に考慮したアクセス動線及びアクセス方法の検討を行ってまいります。	—
15	P44 7.導入機能(案) 2.情報発信機能(1)道路情報・観光案内施設	要望	(C)観光案内施設 道の駅構内に「観光案内所」を作り、瓶原や当尾などのエリアの「自然」や「歴史、文化財、史跡」の魅力を発信すべき。（道の駅を始点とする各種ツアーの提供も考えられる。）	基本構想（案）p.43に記載のとおり、道の駅を訪れた人が観光情報、道路情報、緊急医療情報やその他利用者の利便に供する情報が得られるスペースの導入を想定しております。情報発信の内容は、この度いただきましたご意見等を参考にさせていただきますながら、今後実施を予定する木津川市にぎわい拠点施設基本計画等において、具体的な検討を行ってまいります。	—